

万亭應賀作

外題曲五團包

上

~ 13
3785
69



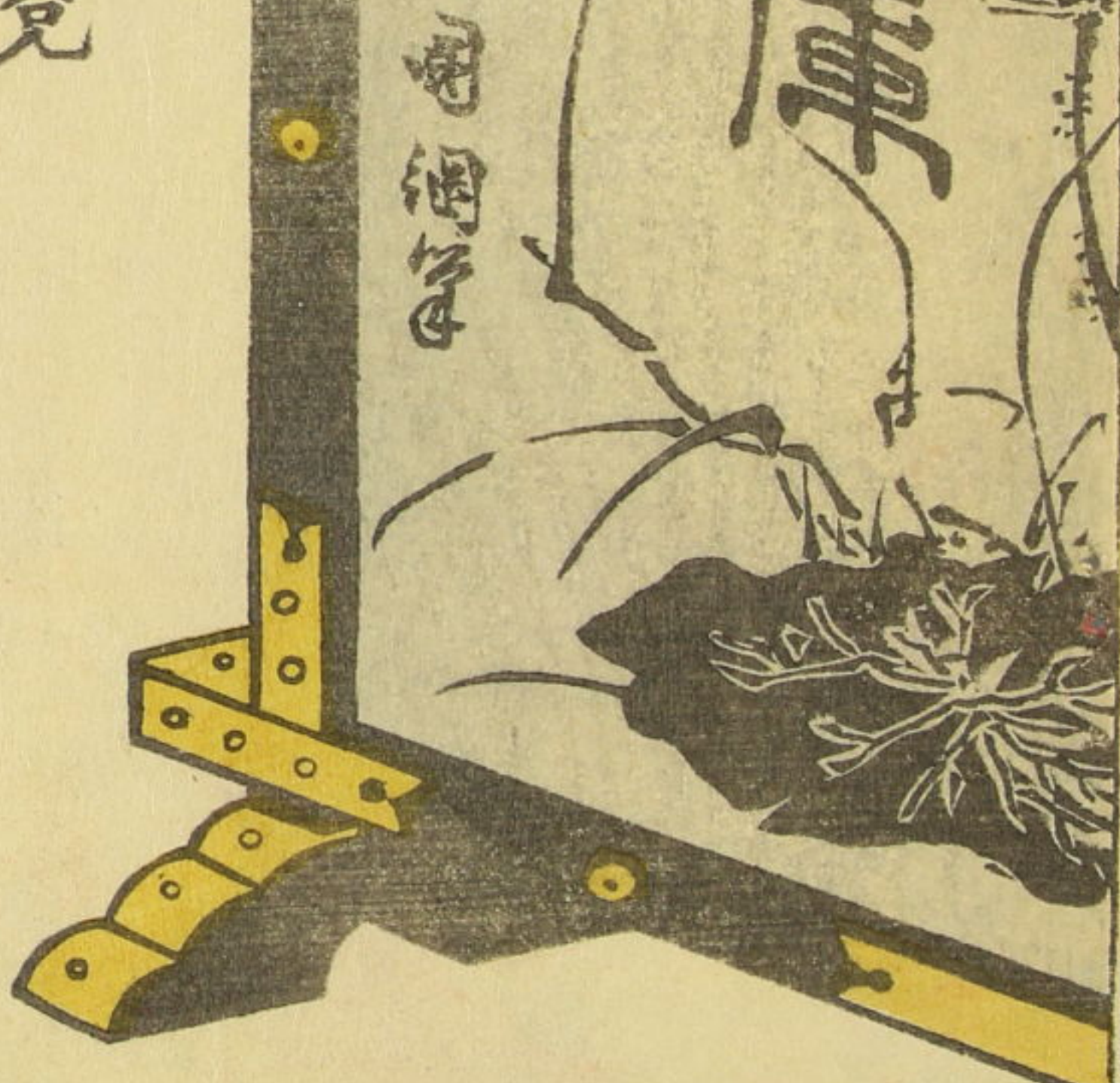
門 13
號 3785
卷 69

釋迦八相倭文庫
三拾五編

丙辰春發兌

万亭應賀作
歌川國貞画

江戸人形町通
上洲屋重藏壽櫻



釋迦八相倭文庫三拾五編序

夫一心三相あり本覚不覚始覚の三也本覚ハ池水澄湛して濁浪なきが如く不覚ハ風塵寒氣の縁小あて浪立濁凍が如く始覚ハ日温中て凍解て水澄が如く青濁の縁小あて浪立濁凍が如く始覚ハ日温中て凍解て水澄が如く難の色欲も即菩提の種とるく直不如來の戒を受ても戒ハ僧俗とも不持べきの良慕されバ口小苦くとも棄べうは昔波羅奈國小屠見あり穢濁の毛名廣額と号して日々羊と殺と其教を知ど時ハ舍利弗彼小向て一日一夜の戒を授け因ハ使て命終の後毗沙門天王の子と生りて又人仏小成らと思は先善善人小あれ善人小あるとるふよく戒を持べと此語誠ハ成仏の近道なれば此大道を真直小誰も行べとある云

安政三丙辰年正月吉日發行

五六 万亭應賀誌

倭文庫三拾五編

寶無量壽佛

此劍の名号弘法大師の筆
真物京都百万遍知恩寺に有り



毘沙門
天王



玉のて
獅子王の劍と
製衣る

五五尊
の第七
師子吼
菩薩
能作性の
師子吼
菩薩

傳文后十九



佛具樂器の名号聖徳太子の筆真物大坂天王寺ふ有り

南無阿弥陀仏

番匠道具の名号聖徳太子の筆真物大坂天王寺ふ有り



ちんたらめり

羅喉羅太子

父の片袖を

携て

夕陽山

獨登り

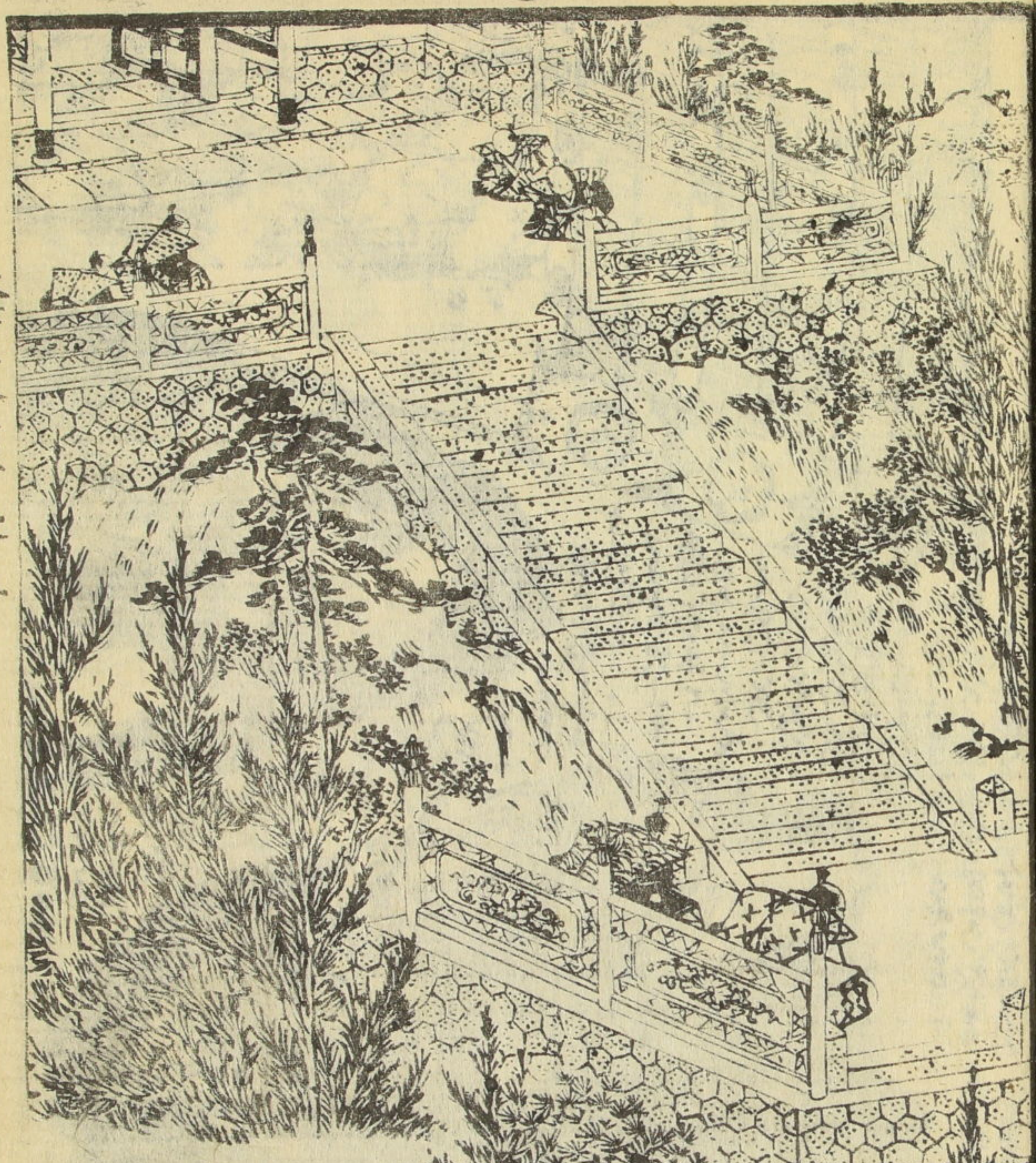
其

らつら子

「中」とあるは、これら二つは、
中身は、これら二つは、
中身は、これら二つは、
中身は、これら二つは、
中身は、これら二つは、
中身は、これら二つは、
中身は、これら二つは、
中身は、これら二つは、
中身は、これら二つは、
中身は、これら二つは、

「中」改め、これら二つは、
中身は、これら二つは、
中身は、これら二つは、
中身は、これら二つは、
中身は、これら二つは、
中身は、これら二つは、
中身は、これら二つは、
中身は、これら二つは、
中身は、これら二つは、
中身は、これら二つは、

「中」改め、これら二つは、
中身は、これら二つは、
中身は、これら二つは、
中身は、これら二つは、
中身は、これら二つは、
中身は、これら二つは、
中身は、これら二つは、
中身は、これら二つは、
中身は、これら二つは、
中身は、これら二つは、



「中」改め、これら二つは、
中身は、これら二つは、
中身は、これら二つは、
中身は、これら二つは、
中身は、これら二つは、
中身は、これら二つは、
中身は、これら二つは、
中身は、これら二つは、
中身は、これら二つは、
中身は、これら二つは、

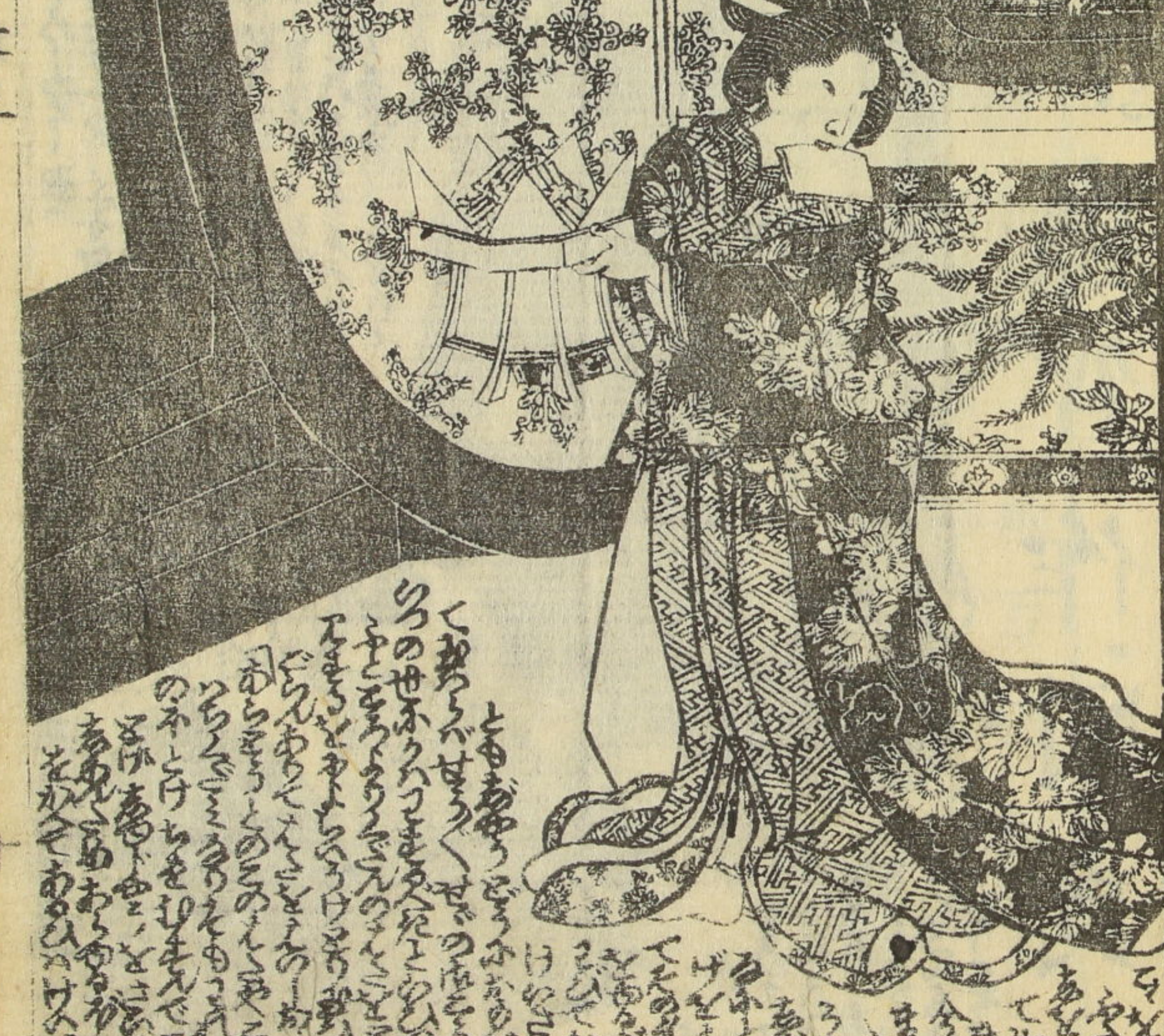
傳文庫卅五

あはれなるの世をさしあがりては
ふかき心せしむるもあやう
けのよきとせしむるもあやう
あはれなるの世をさしあがりては
ふかき心せしむるもあやう
けのよきとせしむるもあやう



あはれなるの世をさしあがりては
ふかき心せしむるもあやう
けのよきとせしむるもあやう

あはれなるの世をさしあがりては
ふかき心せしむるもあやう
けのよきとせしむるもあやう
あはれなるの世をさしあがりては
ふかき心せしむるもあやう
けのよきとせしむるもあやう



あはれなるの世をさしあがりては
ふかき心せしむるもあやう
けのよきとせしむるもあやう

ついでに... 聖に至りては... 身は... 心は... 魂は... 魄は... 精は... 神は... 氣は... 血は... 肉は... 骨は... 髓は... 髪は... 爪は... 皮は... 膚は... 毛は... 汗は... 涙は... 汗は... 涙は... 汗は... 涙は...



應賀作國貞画

今於此思... 攝念仁人... 歸於淨也... 我本因地... 以念仏心... 入無生界... 萬壽無疆... 應賀作國貞画

安政三年丙辰春新板目錄

| | | | | | | |
|------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 倭文庫 | 赤松譚 | 重井菱 | 譚柄瑠璃 | 茶番案文 | 神代とくは茶 | 重本類錦繪 |
| 三十四編 三十五編 三十六編 三十七編 | 九編 十編 | 六編 七編 | 四編 五編 | 全冊 | 三編 四編 | 人形 |
| 萬亭 應賀作 | 如淵 外史作 | 為永 春水作 | 西澤 一鳳作 | 萬亭 應賀作 | 同 | 上州屋 重藏 |
| 陽齋 豊國画 | | | 陽齋 豊國画 | 陽齋 豊國画 | 陽齋 豊國画 | |

